

第8回いるま環境フェア報告書
(2019年10月6日 産業文化センターにて)

入間市環境まちづくり会議
地球温暖化防止部会

1. ごみひろい隊



地球温暖化防止部会のメンバー



4000本のタバコにびっくり



エコライフデー 親子で参加が多かった



ごみひろい隊の紹介

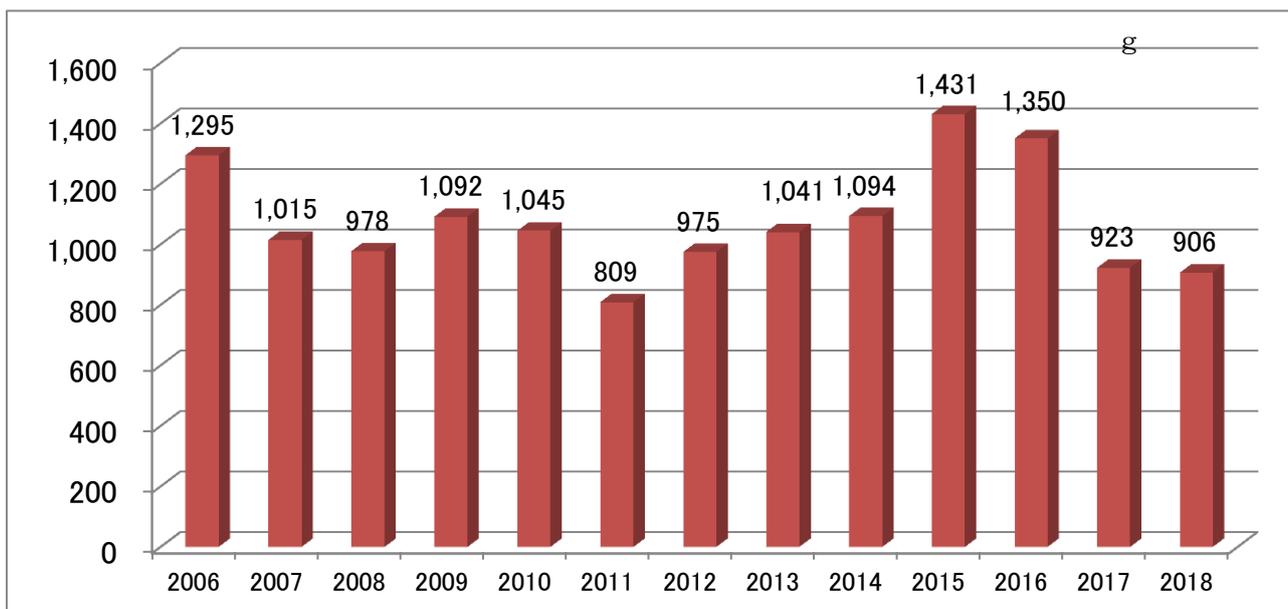
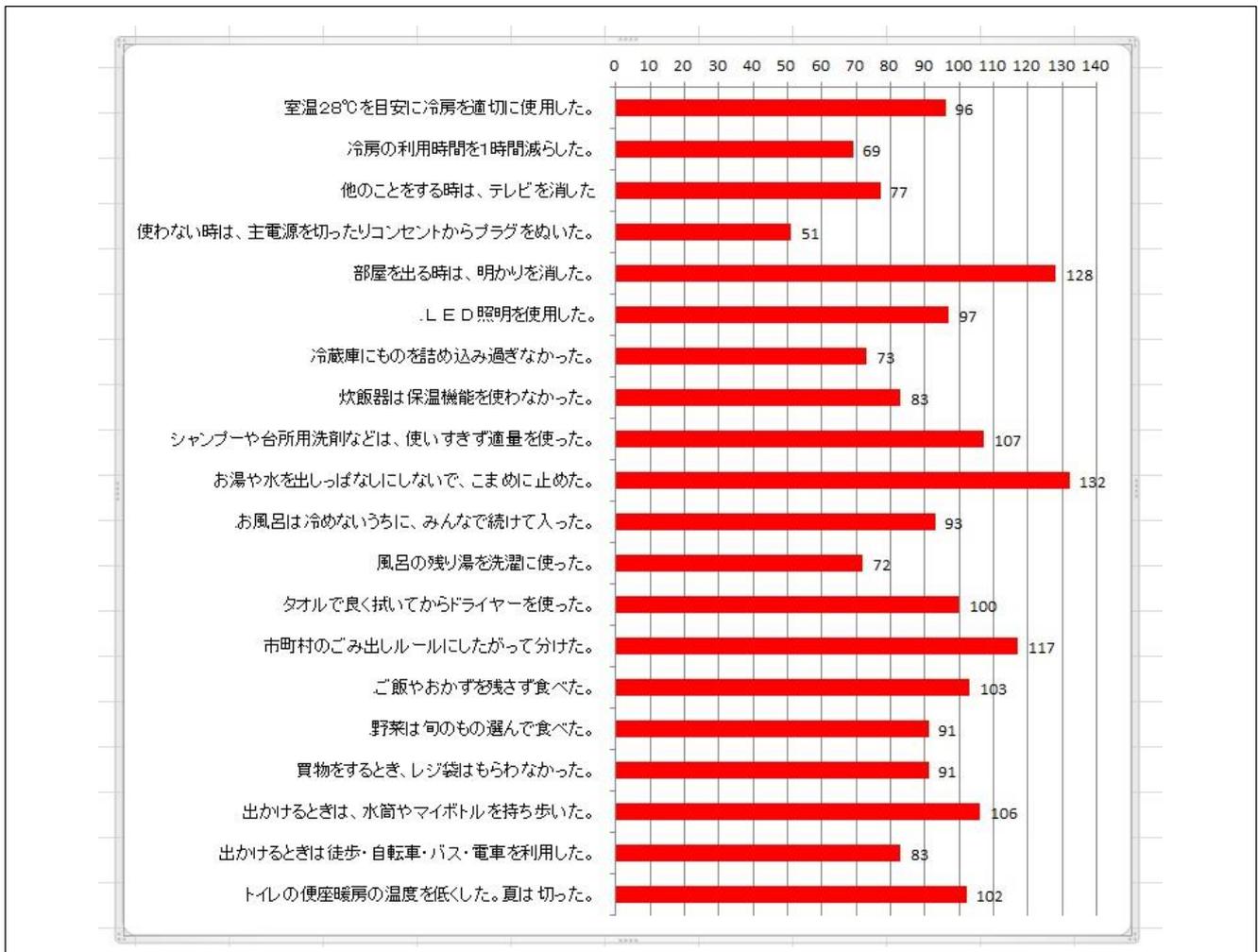


エコライフデー 約150名が参加



2. エコライフデー（アンケート集計）

エコライフデーチェックシート2019夏バージョンより150名の方に参加して頂いた。



タバコの量は減少していない

3. 小水力発電の紹介



感想など

- ・ごみひろい隊で集めたタバコを展示、4000本のポイ捨てタバコを見てその多さに驚いた人が多かった。毎年ごみは減少しているのにタバコのポイ捨てが一向に減らない、また、「携帯タバコケース」「環境課より提供して頂いた啓発品のティッシュペーパー」はほとんど全部配布することが出来た。
- ・エコライデーチェックシートのアンケートに来場者に投票して頂いた。約150名の参加があった。子どもと一緒にシールを貼り付けする親子の姿を多く見かけた。学校では実施されている行事だが親は初めて体験する人が多かった。
- ・小水力発電の事例紹介を行った。パネルを観たか方から「何故入間市は小水力発電ができないのか」という質問を受けた。入間市には「不老川」「霞川」「入間川」の3本の川があるがどれも水量等で適さないのではないかと意見を述べる人がいた。例えば秩父市では川が多くあり、水量も多いがほとんどの川が東京電力の発電所に使われており、水利権の問題では簡単には設置できないと言う人がいた。
- ・今回も地球温暖化防止部会のメンバーの大勢お手伝いして頂いた。最後の後片付けまで付き合ってくれた方が多かった。感謝、感謝、ありがとうございました。

以上
本多進記